

【新たに実施した濁水対策について】

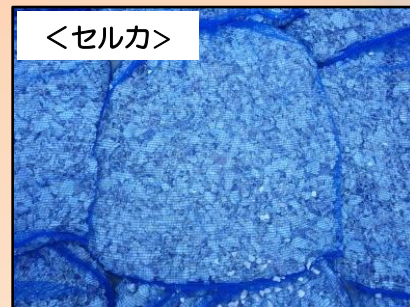
沈砂池内に、カキ殻を高温で熱処理加工した「セルカ」と呼ばれる水質浄化材を設置しました。

カキ殻には、表面に無数の穴がある性状と、カキ殻自体に含まれている炭酸カルシウムが溶け出すことにより、汚れを吸着させ水質浄化の効果が期待されます。

また、水流によってカキ殻が細かく破碎され下流域まで流れることによって、浮石・魚の餌等にもなり、漁場の保護と育成にも繋がります。



<設置状況>



<セルカ>

≪沈砂池内に設置している水質浄化材≫

【これまでに実施してきた主な濁水対策】



≪終点部に設置している沈砂池≫



≪河川内に設置している沈砂池≫



≪濁水処理設備(pH中和装置)≫



≪モールコード(濁水タンク内)≫

広島湯来線麦谷2工区道路改良工事

工事だより

第03号
(2020年1月)



1号函渠据付作業



←埋立地建設現場

←至沼田町

至湯来町→



起点部法面掘削状況



終点部法面掘削状況

【お問い合わせ先】

施工者：錦建設株式会社(発行)
安佐南区沼田町大字阿戸3361
TEL(082)-839-3241

発注者：広島市環境局施設部
恵下埋立地建設事務所
TEL(082)-923-6011

【工事の進捗状況（平成30年10月～令和2年1月現在）】

＜現況と今後の予定＞

これまでに準備工（作業用道路工）、法面工（切土・盛土）、補強土壁工、大型かご枠工、橋台工、護岸工などの工事を行っています。

切土・盛土が完了した法面には植生基材・種子吹付等を施工し、濁水の発生及び土砂の流出を抑制しながら、工事を進めています。

①法面工(切土部)



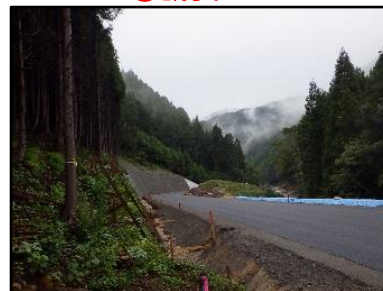
切土が完了した法面には種子を含んだ植生基材(5cm)を吹付け、仮設法面には緑色の樹脂系侵食防止剤(クリコート)を散布し、法面保護を行いました。

②補強土壁工



コンクリート製品のパネルを使用し盛土を行いました。引き続きガードレールの設置等を行います。

③舗装工

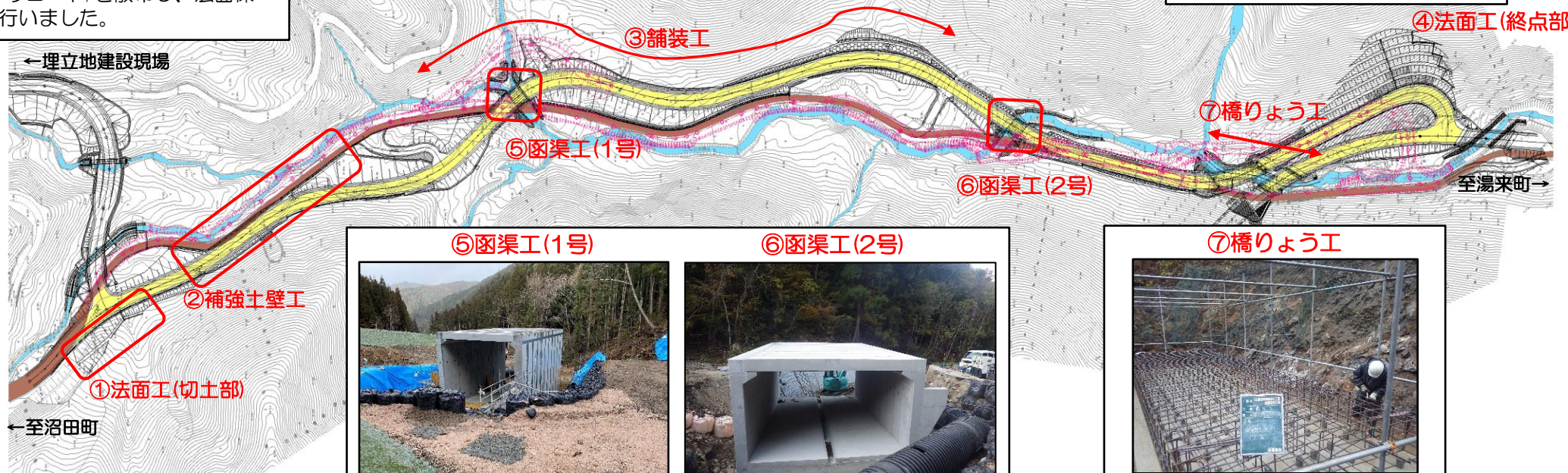


降雨による路床面の洗掘を防止し、土砂流出を防止するために舗装を行いました。

④法面工(終点部)



高所部の掘削及び法面を補強するための鉄筋挿入を行った後、法面の表面に繊維とセメントを混ぜた砂を吹付け、表面保護を行っています。



⑤函渠工(1号)



ボックスカルバートの据付(2箇所)が完了しました。引き続き上部に重力式擁壁、左右にはコンクリート製品のパネルを設置し、道路の築造を行います。

⑥函渠工(2号)



⑦橋りょう工



右岸側橋台の掘削が完了し、橋台本体の鉄筋組立を行っています。(左岸側橋台は施工済)